

広島大学外国人留学生日本語研修コース

第十二期 (1991年 4月~9月)

成果発表会



プログラム

1	六ヵ月日本で	ウィドワティ	(インドネシア) ----- 1
2	かれの夏休み	ジュラマーノップ, チャンチャイ	(タイ) ----- 3
3	日本語は何ですか	ボニラ, ピルバート	(フィリピン) ----- 5
4	ありがとうと言う言葉	マソホーゴ, ムティソ	(ケニア) ----- 7
5	日本と私	ウォン・メイ・イン	(マレーシア) ----- 9
6	じゃんけんぽん	ルキト・ハスタ・プラトポ	(インドネシア) ----- 11
7	インドネシアについて	ハリ・スプラプト	(インドネシア) ----- 14
8	お盆の印象	ルアンサック・カオタマチャイ	(タイ) ----- 16
9	日本人と付き合い方	オマール・ビン・ムハマド	(マレーシア) ----- 18
10	私が見た日本	オロフェルネス, ロディヴィック	(フィリピン) ----- 20
11	日本での経験	メハメット・アリ・イェルデル	(トルコ) ----- 22
12	じこしょうかい	アニータ・ビェシャダ	(ポーランド) ----- 24
13	はじめて日本に来て	ダニエル・カンテロ	(パラグアイ) ----- 27
14	日本語の勉強とわたし	プッタポーン・ソーンスイー	(タイ) ----- 29
15	私の家族	ビリゲン・ネジャト	(トルコ) ----- 31
16	マケドニアとおくないですね	チンゴスキー・ヴラトコ	(ユーゴスラビア) ----- 33
17	日本の教育学	M. イクバル・ジャヴァッド	(インドネシア) ----- 35
18	日本の道	マンソール・オマール・ビン	(マレーシア) ----- 37
19	日本留学雑感	プア・エン・ティケ	(マレーシア) ----- 39
20	かんしゃします	アドゥニャ・ベラーチュ	(エチオピア) ----- 42
21	日本とフィリピン	マリア・イルミナダ・ラビッド	(フィリピン) ----- 44
22	北海道は寒いのですか	チョンサリット・キリット	(タイ) ----- 46
23	日本で勉強時	シーグレン, ジョン	(アメリカ) ----- 49
24	日本語を学んで	ナヴァロ, ヴァレンティン	(ベル-) ----- 51
25	東広島と私	グラッシ, フランチェスコ	(イタリア) ----- 53
26	日本の良い特質	ドーメン, ミサ	(アメリカ) ----- 55

六か月日本で

ウィドワティ

みなさんおはようございます。私はインドネシアのウィドワティともうします。インドネシアのあいさつでは Selamat pagi と言います。

私はゆうべねむれませんでした。はじめてみなさんのまえでおはねししますので、たいへんきんちょうしています。

私はことし四月五日に日本にきました。そして四月十七日から日本語の勉強をはじめました。日本語コースは六か月ですが、休みがあるのどじかんがみじかくなって、じっさいには四か月しかのこっていません。はじめは日本語はとてもむずかしいかったです。毎日毎日いっしょうけんめい勉強しています。朝から夜まで色々練習をしています。たとえば、ひらがなとかたかなと漢字をおぼえたり、日本語の会話のテープレコーダーをきいたりします。ときどきつかれることもありました。たぶん、ストレスからでしょう。さいわい、

私たちの先生がたはめんややさしいくてしんせつでした。

先生がたはいしょうけんぬい日本語のしよほをおしえてくれました。私は、先生がたのおかげですこしずつストレスがたくなって、だんだん日本語を話せるようになりしました。

日本語を勉強しているあいだに色々なことをして、いい勉強になりました。たとえば、先生がたや友だちと話したり、ホストファミリーのいえにとまったりしました。

いつでもどこでも私たちのところをたたくことが出来るものがあります。それは歌です。私は「すばる」といううたを歌うときいちばんかんどうします。今日は、ざんねんながらじかんがありませんから、私たちはうたうことができません。いつかほかのときにうたいたいと思います。どうもありがとうございました。

かれの夏休み

ジュラマーノップ、チェーンチャイ

さいごの雨がふってから、夏のおつかせ
が広島大学国際文流会館の四〇三のへやをと
おってふいています。下着だけを着てねてい
る男の人がいます。

クリーニング・クリーニング

“おはよう！夏休みさん、ああ、なんてき
みはおついった。”とかれが言います。

かれは日本語研修コースの学生です。長く
て辛い日本語の授業が終わったあと、かれは
来月大学院の入学試験をうけることになって
います。いっほう、日本人とかれの友だちは
みんな旅行をしたりかれらの生活を楽しんだ
りしています。

“ぼくの友だちはみんな楽しそう。クリ
トさんは北海道へ行きました。トオさんもホ
ーム・ステイ・プログラムへ行きました。ぼく
？勉強だけ、かわいそう。”とかれは言っ
てから、もう一とねます。

夏休みには、まちのいろいろな店のバーゲン・セールとともにしあわせがまちをおとずれます。多くのばしょで夏まつりや花火まつりなどが行われます。日本人もやはり旅行が好きで、とくに海水浴が大好きです。まちが夏の色とりどりのファッションでかざられています。

“夏休みさん、きみはぼくがさらいなんだね。とうとう、ぼくはきみのことを知ることのできなかった。来年こそはきみと楽しい時間をすごしたいな。”とかれがねごとを言ってから、またねます。

日本語は何ですか

ピルバート ボニラ

みなさんおはようございます。わたしの名前はボニラです。フィリピンから来ました。日本へ来る前、わたしは少し心配でした。なぜなら三十一歳になって新しいことを習うのはめずらしいことだし、おそろくおずかしいからです。最しよにわたしたちは小さい子どものようにあいうえおからわをんまを讀おことを発音することを教えてもらいました。それからほとんど毎週金曜日わたしたちは広島県内のきれいな所を見に行きました。日本にいるあいだ私たちはどこでもたとえばバスの中でも電車の中でも、漢字、文法、讀おこと、聞くことを毎日練習しました。五か月たつてわたしは四百ぐらい漢字をおぼえました。しかし新聞を讀おためにはまだ二千ぐらいのかんじを習わなければなりません。今わたしは心配してはいません。なぜなら、われわれの日本語研修コースの先生がたがこれ

からもつづけて勉強するための正しい技術を
教えてくださいましたからです。

日本語は何ですか、そうですね、おすかし
の問題です。多和田先生がなにかおっしゃっ
ても時々、わたしたちはわかりませんでした
、それで私たちは先生におたずねしました。

先生はいつも「Feel it and you will under-
stand」とおっしゃいました。先生がおっしゃ
ったことは正しかったと思います。なぜか
らかんじを二千きおくしてもまた正しい文法
をおぼえてもじゆうぶんではありません。わ
たしたちがかんぜんに日本語をりかいするた
めにはわたしたちは自分でかんじ、日本人の
かんじょうをよりよく知ることが大切だと思
います。

おかげさまでわたしはよく勉強することが
できました。わたしは「ありがとうございます
」と言いたいです。

ありがとうという言葉

マソホーコ。△ディン

みなさん、おはようございます。わたしはマソホーコと申します。ケニアから来ました。日本語しゅうちゅうコースのおわかれがいであいさつをするこゝができてうれしいです。どうもありがとうございます。

さいしょにりゅうがくせいセンターちょう、すばらしいチャンスにあたえてくださいました。こゝろからおれいをもうしあげます。そして、このコースコーディネーターの多和田先生にもおれいをもうしあげます。また日本の先生がた、どうもありがとうございました。いまいし先生には日本のぶんがについておもしろいはなしをしていただきました。そして、せいぶつせいせんがくぶのぶじた先生にはのうがくのぶんやのせんもんようごを教えていただきました。

わたしはこのコースが楽しかったです。みじがいあいだにおおくのこゝも勉強すること

が”できました。

来月わたしは岡山大学に入り、のうがくの
研究をします。このコースで勉強したことを
いっしょうけんめいじぶんの研究にやくだて
たいとおもいます。わたしは広島大学をはな
れますが、きかいがあればまたいつでもたず
ねて来たいです。

がんしゃをじゅうぶんにのべることはでき
ませんが、みなさまがわたしたちのためにし
てくださったことにもういちどおれいをもう
しあげます。そして、これから来るりゅう学
生にもわたしたちの時と同じようにしてくだ
さることをおねがいます。
どうもありがとうございました。

日本と私

ウオン　メイ　イン

みなさんおはようございます。私はメイ・イン
ソです。マレーシアから来ました。

マレーシア人から見ると日本はすすんだ国
です。おもしろい文化があり、おもしろい人
たちがすんでいます。私には日本の夕の人た
ちは着物を着てしとやかにしている人しょ
うがありました。そして男の人たちは午前九
時から午後十時までいそがしくはたらくてい
る人しょうを持っていました。日本に来る
のがとても楽しかったです。

ここに来てから私は先生からほかのふつう
の人までたくさん親切な日本人に会いまし
た。この六か月間私はたくさんのおよせん
とおもしろいけいけんをしました。たとえば
文法と漢字がむずかしい日本語を勉強しまし
た。それはゆめにまであらわれました。また
私は広大病院に入院しました。日本の家族と
すごしたり日本の教会に行ったりもしました

。日本の食べ物を食べ、はじめてさしみも食べました。

しかしもっともいんしょうぶかかったことは日本人の仕事をするということです。私たちに日本語を教えてくれた先生や病院で私の世話をしてくれたあいしやさんやかんごぶさんをみて私はかれらが自分の仕事に対するけんしんときなさいごにとこもかんどうしました。かれらはほんとうに仕事をよくやり、また親切でした。

はじめてここに来た私がこれまで楽しい日をおくれたのはかみさまのおかげです。私は日本でこのれからのせいかつを楽しみにしています。

さいごに先生がたにかんしゃします。そして楽しい時をいっしょにすごした友だちにもかんしゃします。みなさんありがとうごさいました。

しゃんけんほん

ルキット・ハスタ・プラトポ

みな様今日は

ただいまごしょうかいりたたましましたインド
ネシアの学生ルキットでござります。日本は四
月に来たばかりなのでもうしわけありません
が日本語はまだ上手ではありません。

なんか私に日本にまゐりましたのは。はじ
めまでたいへんうれしくおまつてまゐりまし
た。

みな様、日本とインドネシアとは同じよう
なことがあつておもしろいのです。たとえはし
ゃんけんです。はじめにフラワー・フェスタ
イバルに行つてしゃんけんを見ました。私た
ちは留学生として招待状をもらいました。ア
ステール・プラザ・ビルでフラワー・フェス
ティバルのパーティにさんかするためです。
そこでゲームが行われました。もうしょう者
をきめるため、しゃんけんが行われました。
その時私もひょうくりしました。そのやり方は

インドネシアと同じで、インドネシアでは「ホ
ンピンバ」と申します。じゃんけんぽんとホン
ピンバはどちらも三つのもので行われます。
日本でじゃんけんぽんはガミとハサミとでは
ハサミがカチで、ハシとハサミとではハサミ
はまけます。はんたりにハシとガミとではガ
ミがカチます。
インドネシアでは「ホンピンバ」というのは人間と
ゾウとではゾウがカチ、あるいは人間がカチ、
はんたりにゾウと虎とではゾウはまけます。
ゾウが死ぬと、虎はゾウの尻尻に入るから
です。でも最近インドネシアではホンピンバ
は町の人たちはあまりつかいません。インド
ネシアのいろいろな伝統的ゆききは最近日本
から来たゆききのためにあまりやらなくな
りました。たとえば「ゴケル」、「ガバン」、「かめ
んニンジャ」などがあります。日本では「じゃん
けん」はまだよく行われています。あとの科学
のしんぽのといっしょに伝統的なものがあるこ
とをいいます。リヤ森林がきれいでとりたちも

すみやうい です。

勉強したいことは、どうしてしぜんかんきょうと工業のしんぽがい。しょいできるかです。日本で勉強をするためには、日本語を勉強しなければなりません。

この機会に多くの先生が日本語を教こくたさいました。ほんとうにありがとうございます。

ホスト・ファミリーの平岡さんと中根先生にはよくはげましていただきました。どうもありがとうございます。

以上です。

インドネシアについて

ハリ・スプラポト

インドネシアはマジャとオーストラリアの間にあります。たいへん広い国で面積は約192万平方キロメートルです。これは日本の約5.1倍です。インドネシアは日本と同じような島国です。島の数は全部で約13670ですが、人が住んでいるのは約6000です。大きい島はスマトラ、ジャワ、カリマンタン、スラウェシ、イリアンジャヤの5つです。

人口は約1億8千人ですが、ほとんどの人口はジャワ島に住んでいます。首都はジャカルタで人口約700万人の大都会です。住民は約300の種族があります。ジャワ人がいちばん多く40%、そしてスンダ人13%であとはバリ人、バタック人、ブキス人などです。

国民はすべて宗教を持たなければなりません。イスラム教が約90%で、ほかにはキリスト教、ヒンズ教、仏教などです。ことばも約250ありますが、標準語はインドネシア語です。

インドネシアは日本のような春夏秋冬の四季はありませぬ。季節は乾季と雨季のふたつです。気温は1年中20°Cから30°Cです。インドネシアは1945年8月17日に独立した若い国です。国旗は上が赤で下が白です。赤は勇気を、白は聖なる心と真実を意味します。

インドネシア料理では、ガトガトはピーナツソースのやさしいサラダです。サテは焼きとりですが、牛肉や焼き肉のものもあります。イスラム教の人々は豚肉は食べませぬ。どのほかにも地方や種族によつていろいろな料理があります。インドネシア主食はごはん、とり肉や牛肉、さかな、やさしいとといはに食べます。

お盆の印象

ルアンサック・カオタマチャイ
みな様今日は。私はタイから来たルアンサ
ック・カオタマチャイともします。今日、
私はお盆の印象についてスピーチをします。
さて、八月十五日に私は上下町へお盆を見
に行きました。上下町は広島県内で、小さい
ですがとてもきれいな所です。
上下町で私は岡田さんの家庭に泊りました。
岡田さんの家はたいへん明るい家庭で、
みな様はとても親切です。
その夜は盆踊りがありました。私は日本人
の友だちといっしょに盆踊りを踊りました。
とてもおもしろかったです。盆踊りがおわっ
てから花火がありました。大花火がきれいだ
ったからみんなはたいへんたのしゅうでした。
それから、十六日に私は岡田さんの家族と
岡田さんの先祖のお墓参りをしました。その
時に私はいい日本の文化をしりました。
上下町のお盆がおわったら私は岡田さんの

お姉さん「須賀さん」といっしょに車で広島へ行って、その家で、四人で夜一時までいろいろな話をしました。四人というのは須賀さんとその子ども二人とわたしです。その夜は私の日本語の練習でした。

全部おわって、私はたいへん疲れました。しかし、とてもたのしかったです。日本のお盆は私にいい印象を与えました。日本人は永久にこのいい文化を伝えてください。

今まで六か月になります。日本語のコースはたいへんでした。漢字と文法がたくさんでしたが、おもしろかったです。

さいごになりましたが、親切な日本語の先生方に「どうもありがとうございました。」ともしあげます。みな様のご健康をお祈りもしあげます。

ほんとうにいろいろとありがとうございました。

日本人と付き合う法

オマール・ビン・ムハマド

私の名前はオマール・ビン・ムハマドと申します。マレーシアからまいりました。私は六か月前から日本語の勉強をいたしました。それで、たいけんがおいでよ。

日本人はおかしからよい、悪いというはんだんをちよくせつにはっきりと言うことをさげます。相手のたちばを考えて、その人ばをずつけることをおえれるからよ。

日本人は、いつも相手のたちばを考えて、ものを言います。マレーシアごでは自分の答えがこうといのとをば、`Y A`、ひていのとをば、`T I D A K`とわいいます。が、日本ごの「はい」や「いいえ」は相手の問の方ばおもんじます。たとえば、「行をませんか。」と聞かれたとをば、「はい、行をません。」とか「いいえ、行をます。」と答えます。行かぬいことば、相手がよえうして、聞いていると考えるからよ。

人に物をあげる時に、「つまらぬ物ですよ
が」と言います。りろんでは「つまらぬ
物でもらったもしかたがよい」、「よい物
は食べられぬ」と考えられます。しかし日
本人は自分で自分の物を「よい物」とか「り
っぱな物」などとは言いません。これは自分
の考え方を相手におしつけることをはたし
からず。

今日、日本語のコースはおわりにつづります。
十月から私は岡山へいきます。岡山に私は昆
虫学のしゃうしかていプログラムを勉強しに
行きます。日本語のコースの間私はほんてう
にたのしか、たです。さいごに、先生がたに
ありがとうございますと申しあげます。

どうもうありがとうございます。

私が見た日本

オロフェ、カネズ、ロデ、ヴ、ウ、ワ
四月三日、いせんくらこらに着きました。
私はほんとうにうれしかったです。外国で歯
学の勉強をもとにしたのと思っていました。
そして私はいまじっさいに日本にいます。で
も私がしっていた日本語は「さようなら」だ
けで、たのどかなかったです。話せません、
読めません、書けません、だからコミュニケー
ーションはおどろかしかったです。ある時、私
は日本人の友達ちに電話をかけてみました。
でもひとこともわかりませんでした。それで
ゆっくりじっわきをおきました。だから、い
っしょうけんぬの勉強しました。大いにがんば
りました。いま少しできるようになりました、たの
どうれしいです。

日本語けんしゅうコースで私たちは日本の
文化のユニークなとくちょうの一つをなりました。
それはホモジニテス、何でも同じと
言うことです。日本の文化は、ちいきによっ

て、しゅうきょうによつて、あるいは人によつてことなると言うことはなく、ほぼ同じであると言うことができます。どこを切つても同じだんめんがでる「きんたろうあめ」と言うのがありますが、ちょうど日本の文化はきんたろうあめと同じです。せまい国の土地におおぜいの人に住んでいることのほかに、日本人は長い間、生活のすみずみまで国のとうせいをうけてきたけいけんがあります。だからこじんよりもしゅうだんめん国を考ふるしゅうかんを持っていきます。それが文化が同じになることを生んだげんいんと見られます。

だから、日本はテクノロジーでとてもすすんでいきます。そして、けいざいできにゆたかな国です。

これから日本でもっとたくさんのもので見て、日本について考ふるでしゅう。

どうもありがとうございました。

日本でのけいけん

メハメツ人・アリ・イエルデル

わたしは、トルコのアンカラからきた、

MEHMET ALI YEROELです。

わたしのしごとはげかいです。わたしはぞ

うきいしょくのけんきゅうもするために日本

にいます。四月から九月までわたしはおもしろ

い日本語を勉強して見ました。がんばりま

した。でもまだじょうずではありません。

わたしは五月から毎週、週末岡山大学の大

学病院のじょけんしつでけんきゅうをはじめまし

た。夏休みにもそこでけんきゅうをしていま

した。わたしは日本のいがかたととてもいいい

んしょうをうけました。日本でのせいかつを

たのしむつもりです。

食物、天気などのちがいはとても小さい問

題です。日本語だけが、いまのわたしの問題

です。でも、すうか月あとはもっとよく話

せるように、そしてわかるようになってい

くおもしろいです。

すうじつまえ、わたしのかぞくが日本に戸
って来たので、いまは、いぜんよリせいしん
てきにも、よつよくなりました。

わたしは、いがかくのいんき、うにベストもつ
くし、日本のとてすすんだばかりじつち
まなびます。

わたしたちをがまんづよく教えてくださっ
た、広島大学の日本語の先生がたにかんしゆ
したいとおもいます。わたしはホストファミ
リーのあたにかいごしんせつにかんしゆしま
す。ホストファミリーのかたがたはわたしの
かぞくのようでした。

さいごにとてもおもしろいくにアベンきよ
うできる二のすばらしいきかいをくだけた
文部省におれいをいいます。

六ヵ月どうもありがとごさいました。

じこしょうがい

アータ・ビエシヤダ

わたしはポーランドのアータ・ビエシヤ
 ダともうします。すんでいるのはプラスポと
 言うまうでした。そこで、のちぎょう大学で
 学者としてはたがいていました。せんこうは
 野菜と花の水耕法です。

日本に来た時日本語はまったくわからなく
 て、「もようなり」と「おはようございませう」しかし
 りませんでした。4月の18日から広大の留学
 生センターでおこなわれる Intensive Japa
 ne se Course にかよいはじめました。学校で
 いろいろな国の人に会いました。いっしょに
 大学にいらるほかに、じゅぎょうがおわると国
 際交流会館で、はなしたりあそんだりして時
 間をすごしました。いっしょにいるあいだに
 おたがいの国のしゅつかんをたがいました。
 学校では、たんだんひらがなとかたかなと漢
 字をおぼえて行って、三か月がた、こから日
 本語でかんたんな話ができるよりになりました

た。先生がたには、文法だけではなく乙日本の文化とれきしも教えていただけました。そのほかに先生がやをしてくて、いづもこまつたことがあれば先生にそうだんにの、ていただけました。

今、わたしはづいぶん日本の友だちもおおくいます。

夏休みの時友だちといっしょに京都と奈良に行つて、たくそんのをれいお寺と神社を見え来ました。すこし日本史を知つていました。

コースがかわると十月に岡山へ行つて岡山大学ののり学部で自分のけんきゆをしようと思ひます。文部省のしょうがくそんをいたたいてひじょうにうれしいと思ひます。なぜかと言つと、しょうがくそんのたの世界で一番じゆつてきにすすんでいふ国で自分のけんきゆりができるよつになつたからです。

先生がたといっしょにすごした半年は本当にいいべんをよつになりました。日本語たけ

ではなく、先生のおかげで日本人の生活や
考え方を少し理解できるようになったので、
かんしゃしています。この半年になつたこ
とをせつたいおすれず、これからはじまる
岡山の生活にも役立つようと思います。広島
大学でべんぎをやつした、そしてやりけんした
ことはいっまでもおおくの中にのこります。
思い出を、心からありがとうございました
た。これからもいっしょけんめいに自分のけ
んきやうをしようと思います。どうもありが
とうございました。

はじめて日本に来て
ダニエルカンテロ
日本に来てから日本はしんぴのだということ
に気付きました。日本の文化をりかいする
のはたいへんだと思いました。日本に来て五
か月たち、やっとおちついてきました。カル
チャーショックもいちだんらくしました。多
くの人が、日本文化の中でもっともおもしろ
いことはかぶきやちゃのゆやげいじゅつやま
いこさ人のおどりだと思っていますが、わた
しがお話したいことは日本での自分のけいけ
んの中でかんでうしたことです。日本人はた
いへんしんせつです。ことにわたしのホスト
ファミリーはしんせつでした。かれらはとて
もしんせつに、たすけて下さいました。わた
しのことをよく知らなかったのにむすこのよ
うにあつかってくださいました。このかたが
たスペイン語も話せないしわたしの国の文化
もよくわかからないのかれらといると母国に
いるというかんじがしました。カルチャーシ

ヨックをのりこえるために ホームステイ
というのはいけいけんだと思
います。しょうらい日本に来る留学生にもやく
だつたらうと思ひます。さいごにわたしのか
んしゃの気持ちをひょうげんしたいです。ホ
ストファミリーのかたがたと先生がたどうも
ありがとうございました。

日本語の勉強とわたし

プッタポーン・ソーンシー

わたしはプッタポーンです。タイにあるバンコクの大学を出ました。わたしのせんもんは醗酵工学です。

広島大学の日本語コースはもう終わりました。わたしは今、日本語が大好きです。わたしがなぜ日本語の勉強はおもしろいと思ったか、それを一口に言うことはたいへんむずかしいです。わたしは六ヵ月前にタイから日本に来ました。その時は日本語がぜんぜんわかりませんでした。日本にいる間、わたしはいろいろなめずらしい経験をし、その上、友だちもたくさんできました。わたしはいろいろな人に、とても親切にしてもらいました。

この四月に、わたしが日本語の勉強をし、はじめたころに先生は学生に日本語の文字の練習をさせました。日本語の文字の中で、「かな」と言って、「ひらがな」と「カタカナ」があります。この文字は日本語を勉強するた

めにはあまりむずかしくないようです。けれども、一つだけふしぎだと思ったことがあります。それは「漢字」という文字です。日本語は漢字を借用して表記されてきたが、後に漢字から発達した音節文字、つまりかなによっても表記されるようになりました。漢字とかなが混合して使われているが、これが日本語の国際語化を妨げる一因となっています。

わたしはそれがわかって、ますます日本語と日本の文化にきょう味がわいてきました。日本語の勉強を通して自分の世界がずいぶん広がりました。これからも、せんもんの勉強があっても、わたしはあせらず日本語の勉強を続けて行くつもりです。

私の家族

ビリゲン、ネジャト
みなさん、おはようございます。私は、トルコから来ましたがビリゲンです。トルコでは私は、考古学を大学で教えていました。私は日本の考古学の研究をするために、広島大学に来ました。

4月から、西条で、日本語を勉強しました。私は、広島と京都と香川県をたずねました。どこもとてもおもしろくて、きれいでした。日本のはくぶつかんや美術館がとてもよかったです。せと大橋もおもしろかったです。人々も、しんせうでした。

私は、日本のりょうりがすきにまりました。たとえば、私は、おこめやまとうどんとカレーライスがすきです。そして魚、かい、たに、いかなどのツーフードもすきです。しかし、はじめは、さしみを食べるのが少しむずかしかったです。日本にきてから、はじめはしをっかりしましたが今でははしがすきにた

りました。トルコへ帰ってからもうたしめが
多くははしをっかうと思います。

8月に、トルコから家族が来て、今、いっ
しょに住んでいます。9月からは、おすめが
小学校に、おす二がようちえんに行き始めま
した。二おからは、家族みんなで日本語を勉
強しようと思っています。私はかたらず、日
本め人とおゆうじょうと日本め人からうけた
もてなしを私たちの国へ持って帰ります。

日本語コースの先生方、どうもありがとう
ございました。

マケドニアとおくなくは

千ソゴスキー・ヴラトコ

私の名前は千ソゴスキー・ヴラトコと申します。一週間前まで私は「ユーゴスラビアから来ました。」と言いました。しかし今から「私はマケドニアから来ました。」と言います。私は、二十九年間マケドニアで生まれました。今年の四月に日本へ来ました。日本語の勉強がおわったから広島大学の工学部で勉強するつもりです。六か月は短かったですか、私は日本や色々な国からの人々とたくさん友だちになりました。

私は日本へ来る機会があったころうんでした。日本へ来る前に日本語を話すことがぜんぜんできませんでした。今私は少ししか日本語が話せないですが、私はとても楽しいです。私の日本語の先生に「どうもありがとうです。」と言いました。」と言います。

今から、私は私の国について話します。マケドニアは小さい国ですが、とてもきれいな

国です。たくさんの山や川や湖などがあります。きれいなしぜんがあります。マケドニアはれんじで有名な国で、アレクサンダーから、スラヴの人々の文字を発明したクリマント。マケドニアにはとてもおもしろい文化があります。そして、マケドニアの歌とおどりとたくさんの正統派の教会は世界で有名です。ぜひマケドニアの人々はみしらぬ人に親切です。私はマケドニア人であることをほつらしく感じます。

私の国から日本まで+五時間くらいかかりますが、マケドニアはいつも私の心の中にあるのです。もし、みなさんよろしければ文化のまざったマケドニアへ行ってみてください。マケドニアはバルカンの真珠です。私はみなさんをマケドニアへ招待します。マケドニアはとおいくないですね。

どうもありがとうございました。

日本の教育学

M・イクバル・ジャワド

みなさまおはようございます。私の名前はイクバルと申します。インドネシアから来ました。インドネシアでは五つ大きい島があります。スマテラとジャワとカリマントンとセレベスとイリアンジャヤと言います。私の町はセレベスにあります。ウジュンパンダンと言います。私はウジュンパンダンに1967年三月十八日に生まれました。

私はこゝし四月四日日本に来ました。四月十七日から九月十一日まで私は広島大学教育学部で勉強をしました。あと十月から広島大学生物生産学部で勉強をします。私は日本に来て勉強をするつもりでした。私はいろいろな国の友だちといっしょに毎日いっしょけんめい勉強をしました。ひらがなやがたかなや漢字や文法や会話などの勉強をしました。私も先生に日本のぶんかを教えていただきました。時々私たちは先生といっしょに旅行へ行

きました。はじめ、日本語けんしゅうコース
 には、たくさんおかしいおとがきこえました。
 たとえば日本語初歩の日本語を読む時に私た
 ちはおそく読みました。わ...わ...た...た...し
 は...ま...ま...い...に...ち...が...こ...へ...じ
 ...じ...て...ん...じ...てん...しゃ...び...い...き
 ...ま...す。しかし毎日先生がたはしんぼうづ
 よく教えていました。私たちは先生にしから
 れたことはありません。今私たちはだんだん
 上手になりました。夏休みに私は毎日けんき
 ゅうしつへ行きました。楽しかったです。日
 本語けんしゅうコースもとても楽しかったです
 す。それでは多和田先生、中川先生、田村先
 生、橋本先生、天満先生、水野先生、西村先
 生、日本語を教えてくださいほんとうにあり
 がとうございませう。私のホストファミリーの
 かたがたもがんばってくださいと言ってくだ
 さいました。ありがとうございます。夏休
 みにけんきゅうしつで勉強をするきかいをくだ
 さって難波^{なんば}先生にかんしゃします。みんなさ

日本の道

マンソ - ヴ・オマ - ヴ・ビジ

私の名前^ナはマンソ - ヴ・オマ - ヴです。マ
ンソ - ヴから来ました。私のきぼうは、いつ
かみなさんにマンソ - ヴへ行ってほしいです。
私がはじめて日本へ来たのは1980年でした。
このときはアツアツからの友達と来て、の
うきょうせいねんのための21世紀きじゅう
プログラムで来ました。

このけいけんやほかのじょうほうなど、日
本のすあんだとここときじゅうで、私は日本
にあこがれました。それで私は日本へまき行
きたいとけっしんしました。

1988年の日本文部省しょうかくきんのすい
せんにごうかくしと、どこもよいきかいが来
ました。しかし、私のはたらくとここではひ
とでがふ、よくしているので、来られませんでした。
1991年のさいようもろしにんで、ま
いわいにごうかくしました。

1991年4月に日本へしゅうぽうしました。

4月17日から6ヶ月間広島大学でせいしきに
 日本語の勉強をはじめました。
 日本語の勉強は広島ではじめてでした。日
 本語と言うのは大変むずかしくて、私にとつ
 てはあたらしいものでした。せいしよはぜん
 ぜんわからなくて、ただ聞いて、見ていたの
 でした。たいへんけいけんがたかぞ、ゆう
 しゅう先生がた多和田先生、中川先生、橋
 本先生、田村先生、天沼先生などのおかげで
 、私は日本語が少しわかるようになりました。
 みんなすばらしい先生でこころからかんじ
 てもうします。
 きょうはしゅうりょうの日でたいへんうれ
 しいです。日本語はたいく外国語にしたいと
 思います。
 これから岡山大学のマージャン論特論
 に入ります。私のしどうきよかんは山下先生
 です。岡山大学で勉強をがんばりたいと思
 います。
 どうもありがとうございました。

日本留学雑感

プア・エン・テイケ

光陰矢の如し。私は今日本での生活がもう五カ月すきになりました。短い時期で、今、日本語研修コースの勉強をおわりました。今、私は日本語の授業を終わってが悲しいことだと思ひます。残念です。私は日本語の授業を延長することができると希望します。

日本は先進国家だと言われたいです。私は大学生の時日本へ行きたいと思ひました。百聞は一見にしかず。今、私は日本の生活を實際に体験しています。

日本に来た時、日本語が世人せんわかりませんでした。日本の文化や習慣、日本人の考え方についてあまり知りませんでした。日本語は今度私の四番めの言語として習っています。日本語の文法はマレー語、英語、中国語と世人せん違ひます。まず私は、習うのは日本語が一番むずかしいと思ひました。それから毎日いっしょうけんめいに日本語を勉強し

て、私はだんだん日本語を^リ理解^{かい}することができ
るようになった。それに日本のホスト
ファミリーの家^がにホームステイ^して、日本の
家庭^かや日常生活^{じつじょう}と日本料理^{にっぽん}を^じ実際に^{じつじ}体験^{たいけん}しま
した。

将来国に帰るなら、私の友だちに日本文化
や習慣^{じかん}について話^わします。それから日本とマ
レーシアはもつと^{ふた}両国^{りょうこく}の友情^{ゆうじやう}や協力^{きやうりき}を促進^{そくしん}し
たらよいと思っています。

ところで、ここで勉強^{べんけん}しているうちに、い
ろいろな国際社会^{こくさい}のことについても^リ理解^{かい}する
ことができました。いろいろな国際文化交流^{こくさい}
のこともたくさんありました。これは非常に
楽しかったです。

私は今度来日^{きらい}して勉強^{べんけん}する機会^{きかい}を得^えて文部
省とマレーシア政府^{せいふ}に感謝^{かんしゃ}しています。つき
に、宏大日本語^{おほい}の先生^{せんせい}やホストファミリーの
清崎^{しみず}さんや友だちなどに感謝^{かんしゃ}します。日本語
と文化^{ぶんか}を教^{おし}えていたがきました。みな様^{みなさま}ほん
とうにありがとうございました。みな様の時

間があれば、岡山でまた会いましょう。さよ
うなら。

かんしゃします。

アドウニヤ。ベラーチウ
先生がた、リゅう学生センターのかたがた。
日本語研しゅうコースのおわかれ会でよりさ
つまいただくきがいをあたえてくださいまし
てありがとうございます。さいしよにリゅう
学生センターのセンター長に、すばらしい施
設をしていきょうりただいたこと、心からおれ
りもうしあげます。夕和田先生には日本語の
先生としっしよにおしえていただきました。
今石先生には日本の文化のおもしろい話をし
ていただきました。かけはし先生には公衆え
い生のぶんやでの専門用語を教えていただき
ました。すべての先生がたにあつくあれりも
うしあげます。

私はこのコースの楽しくて短いあいだにお
おくのことを勉強しました。これから私は山
口大学の医学ぶで公衆えい生の研究をします。
このコースで勉強したことが、これからとても
やくにたつことと思います。私は広島大学を

はなれますが、きかりがあればいつでももうが
がしたいと思ひます。

私は勉強してきたよりだに、先生といっし
よに、平和公園、動物園、おのみち、宮島、
などきょうみぶかりところへいくきかりがあ
りました。それが広島や日本のおもいでにな
るでしょう。

かんしゃのきもちをじゅぶんへのべること
はありませんが、みなさまが私たちのために
してくたさったことにもういちどおれりもう
しあげます。そしてこれから来るりゅう学生
にもさいぜんをつくしてしどらしてくださる
ことをおねがいしあげます。

どうもありがとうございました。

日本とフィリピン

マリア・イル・ミナダ・ラピト

わたしの国はフィリピンです。フィリピンは小さい島ががあります。わたしはダバオでせいかつをしています。フィリピンのいちばん大きいところはダバオです。ダバオにはハナナののうえんがたくさんあります。ハナナはくものものがたくさんあります。ハナナはダバオではとてもやういす。ときどきたつです。ダバオでも海岸がきれいです。

フィリピンは豊富なしげんのしげん、それはいまでもせんしん園のつたのいかにいります。

日本の国ははつてんしました。いまフィリピンは日本にえんじょをうけています。わたしはたとえは日本の気前のよさをかんがえます。

いま、わたしはしばらく日本にすんでいます。わたしはフィリピンのきこうは日本のきこうととてもちがうと思います。たとえは、

せん月、日本は夏で暑いのです。フィリピンには
 かんきとうきの二つの、きせつしかありません。
 かんきは雨がすくなくとも暑いです。
 うきは雨がとても多いです。でもあまり暑
 くないです。かんきはたいてい十一月から六
 月までです。うきは十月ごろはじまります。
 きこうからしやうかんやせんせつやげんご
 せいかつのしかた、全部日本はちがいます
 。だから、いま日本にすんでいておもしろい
 です。もうしばらくたいていするのだからし
 みです。たぶんフィリピンへかえる時にわた
 しはもつといひフィリピンのしみんでしよう
 。そして、わたしのせいじ学のべんきようで
 わたしの国をたすけたいと思います。
 もんぶしよのしよをきんをもらうこと
 ができたいへんたすかりました。けんきや
 うしてべんきようをするきがいをくだして
 水上先生にかんしやします。全部の日本語の
 先生がたほんにとどうもありがとうございま
 した。

北海道は寒いのですか

ジョンサリッド・キリット

タイでも日本で北海道が一番寒い所と言うことはみんな知っています。子供の時の社会の授業から日本で一番北の島は北海道で一番南の島はおおきなわだと覚えます。そう言うわけで夏休みに一番いい所はもちろん北海道だと思いました。

六月に交流会館の一階で北海道ホームステイプログラムの知らせを見て私はすぐに夏休みに北海道へ行ってたのしくすぐ予定を作りました。

北海道では伊達市に行き私は日本人の家に十泊くらいしました。その家はお父さんとお母さんと私と同じくらいの年の子供がいます。毎日私は朝起きてお父さんと一しょにジョギングをしました。お父さんはマラソン・ランナーです。1987年のハワイマラソンに出たお父さんは二番でした。走っている時お父さんはいつも「キリットさんつかれたか」

と聞きました。とてもやさしいかたごした。
伊達市には私とアメリカ人と韓国人と台湾人の五人がホームステイしました。私たちは日本語で日本青年と話し合ったり、学校ご子供たちと話したり、自分の国の紹介をしたり、ゲームをしました。とてもたのしかったです。プログラムがない日には私はホストファミリーといっしょに旅行をしました。札幌へも行きました。その日、大通り公園は花ごいっぱいでした、いろいろな花ご絵が描かれました。「ああ、ほんとうの花じゃないみたいなあ」と思いました。大通り公園から歩いて時計台を見てサッポロラーメンも食べました。

私は毎晩お父さんお母さんと一しょにビールを飲んだり、いろいろな話をしました。たとえば「タイごは食べる時にはしを使いますか」とか「タイの米と日本の米は同じかどうか」と聞かれました。お母さんが「タイの気候は暑いごですか」と聞きました。ごも北海道

もともと暑いと思ったので、この質問にはその時答えられませんでした。私は北海道では毎日天気がよくて日がまぶしいし、昼はタイと同じくらいの暑いのです。たぶん冬にもう一回北海道へ行ったら、北海道がほんとうに寒ということがわかるのかもしれませんが。

日本で勉強時

シーグレン・ジョン

広島大学で日本語を勉強するのはすばらしかったです。専門の勉強をしなくて、日本語の勉強だけをするのは贅沢だと思います。そして毎日日本人の日本語を聞くのは大きな恩恵です。今、音の区別ができるようになったので語りをどんどん増やしていきます。正規の学習をしなから日本人の表現も習っていると面白くて、実用的なことも追加するのです。今年の四月からだいぶ上達しました。

日本での生活に入るにあたって手伝っていただいた先生と大学の職員の方々にお礼を申し上げます。直接にはなくても先生のおかげで困った時もなんとか耐えました。日本文化についての勉強をしたことがあるので色々なことを自分で実際に体験してみても楽しいです。日本文化の理解が深くなりました。本で習ったことは実際の体験とは違うと思います。日本語と日本文化は密接な関係があると思うので日本語

を習うと同時に広島大学で日本文化を体験して本当によかったです。

国際交流会館に皆さんと一緒に住むのは得がたい経験でした。やはり日本で日本語と日本文化を習っていても、色々な国から来た人々、色々な文化から来た人々に会うことはきたりにしていませんでした。このような経験も楽しかったです。又、アラスカとアラスカの文化について皆に教えたという希望も私は持ってります。結局、広島大学で手助けや案内やいろいろ経験をいたただいたのでこれから私の研究のプランニングやいろいろ準備ができると思います。

どうもありがとうございました。

日本語を学んで

ナバロ・バレンティン

私は日本に来てからおよそ6カ月になりました。最初、日本の生活習慣にとまどいを覚えました。3カ月を過ぎるころこちらでの生活になじんできました。

日本人は2つも宗教をもっています。つまり神道と仏教です。ちなみに南米では大部分がキリスト教です。しかし、日本の場合それは実際には宗教と言うよりも習慣のように思えます。

私は日本で色々な祭り、例えば七夕、盆踊りを見物しました、それを見てさわやかな気分になりました。日本人が昔からの習慣を大切にしているのがわかったからです。

私は祭りを通して日本をよりよく知ることができた気がします。

ところで私は少年時代、侍や忍者の登場す

20 る時代劇を見て日本語に興味を覚え日本への
 夢をふくらませました。ペルーの大学を卒業
 し、日本留学のための奨学金コンクールに応
 募し、幸いにして奨学生に選ばれました。そし
 てついにあこがれの国、日本の地を踏むこと
 15 ができたのです。

私は今まで広島で勉強し、10月から岡山大
 学へ研究生として行くことになっています。

そして来年の2月に行われる商学部の試験
 に合格するとMASTER COURSEに
 10 進むことができます、それは私の夢ペルー下

企業経営という夢に近付けることを意味します
 。

日本の技術は日々進歩していますが日本の
 心は昔から変わっていません。現在日本は世
 5 界に名立たる経済大国で、世界中の発展途上
 国を援助しています。大変すばらしいことだ
 と思います

以上

東広島と私

グラ ッシ ・ フラ ン チ ェ ス コ

西条に来たばかりのことです。

着いてから、「ようこそ東広島へ」というパンフレットをもらって、すぐ読みはじめました。「このガイドブックは日常生活に関する基本的な情報を提供しています」と書いてあるから、カルチャー・ショックを乗り越えるために役立つだろうと思いました。そこでいっしょうけんぬい読み続けました。「日本は地震の多い国です。地震が起きた時、火を使っていたら、すぐ火を消して下さい」と書いてあるので、私は急に心配になってきました。そして「5月ごろになると、へビが出てきます。その中には毒へビもいます」と言われ、うよっとこわくなりました。

一日にしてカルチャー・ショックは乗り越えることができませんが「とんでもないところ

に来ってしまった」と思う余裕はありました。
なのに、ヘビは見ないし、地震はありましたが、恐怖感を覚えるほど大きなものではあり
ませんでした。

生きている限り東広島のことを忘れないた
ろうと思います。おかげさまで、忘れないこ
とは恐怖感じゃなく、国際交流会館での国
際交流のいい雰囲気です。特にイタリアと南
米との間の交流。スペイン語は、ぜんぜん勉
強しなかったのに、をんだんわかるようにな
りました。まるで母国語のように。残念なが
ら、日本語は同じようにまた話せません。

でも、有名なことわざを借りて言えば、「
ローマは一日にして成らず」。だから、頑張
ります。

先生がた、お世話になりました。どうもあ
りがとうございました。

日本の良い特質

ドウメン・ミサ

私は日本に来て住み始めた時、まず思ったことは、「日本の家や道路や街などが狭すぎる。人や車などが多すぎる。食べ物や服や電気料金などが高すぎる。」ということでした。いつもこのように日本とアメリカを比べていたので、二年間も日本で過ごせるかと思っていました。けれども、今、日本にだんだん慣れて来たので、日本もたくさん良い特質があるということに気が付きました。

何よりもまず、日本はとても安全な所です。もちろん人犯罪もありますが、日本とアメリカの犯罪の数となかみは全く異なります。例えば、アメリカでよく盗まれる物は自動車ですが、日本は自転車とかさです。アメリカでは自動車にかぎを掛けて警報器をつけてもまだ盗まれたということが多いです。日本では自動車のエンジンをかけているまま店に何かを買いに入るが、公衆電話を使う人が多いです。

また、アメリカでは自動販売機はたくさんありますが、だいたい店がビルディングの中においています。それにまたにしか外においていない自動販売機は鉄のフェンスに囲まれています。日本はどこかの街に通っても、道路の入りか店の外にいろいろな自動販売機がいつでも使用出来るように並んでいます。

日本の交通系統は日本のもう一つの良い特質です。自動車を所有していなくても、列車か電車かバスに乗れば、行けな場所是非常に少ないです。けれども、アメリカでは自動車は必要です。国が広すぎるので、列車や電車を有効に使用する事が難しいです。それに、市内では犯罪が多いので、バスに乗る事はあまり安全ではありません。

日本に来た時、二年間はとて長い期間だと思いました。けれども、日本のいろいろな特質を理解出来るようになった私は今、日本で過ごす期間があと一年半しかないと思うと少し悲しくなります。